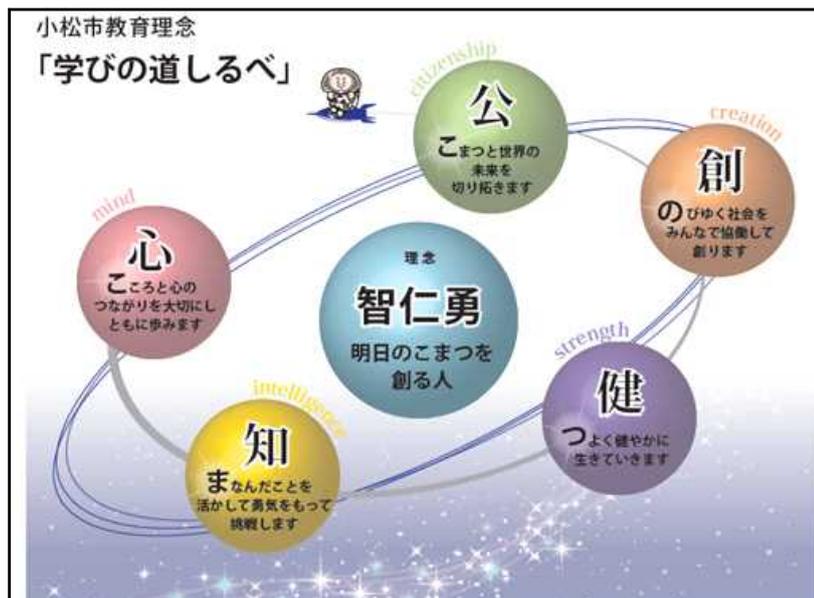


1-1 小松市教育目標



1-2-1 学校経営計画

1 経営理念

- ・小松市教育目標の実現を目指し、豊かな心の育成と学力の向上を教育の中核とし、社会に貢献できる活力ある人づくりに努める。
- ・生徒、保護者、地域住民の信頼に応え、誠心誠意、親身にかかわり、粘り強い指導を行うとともに、教師自らの修養と、生徒の人格形成・学力向上のための研修・研究に積極的に取り組む。

2 教育目標

温かな心で意欲的に学びに向かう生徒を育てる学校づくり
～学びたい気持ちをもち続ける「不撓不屈」の芦中生徒の育成～

(1) めざす生徒の姿

【生徒信条】

なにごとにも・誠意をつくす・熱意をもってする・創意をこらす・善意をもってあたる

- ・他者を尊重しながら、自分の言葉で伝え、相手の話を聴き、学びを深められる生徒
- ・様々なことに興味を持ち、何ができるかを考え、自ら主体的に行動する生徒
- ・心身ともに健やかで、思いやりのある温かな心の生徒

(2) めざす学校の姿

- ・生徒が安心して学べ、明るく元気に充実した毎日を過ごせる温かい学校
- ・生徒が「知りたい」「わかりたい」「学びたい」と感じ、自らの主体的な学び（探究的な学び）を通して、確かな学力が身につく学校
- ・教職員が良好な人間関係を基盤として、共通理解の下、同じ方向を向き、組織力、チーム力を発揮できる学校

(3) めざす教師の姿

- ・深い愛情と倫理観を持ち、生徒一人ひとりに真剣に向き合い、生徒、保護者、地域に信頼される教師
- ・使命感と信念を持ち、質の高い教育を提供するために資質と指導力の向上をめざして学び続ける教師
- ・よりよい学校づくりをめざして積極的に経営参画し、組織的に対応できる教師

3 重点目標

(1) 組織体として機能する学校をつくっていく

- ・全教職員の共通理解・共通実践にもとづいた組織的・協働的な学校運営組織の構築に努める。教育の成果は、学校がチームとして充実した教育活動を実践できてこそ現れるものである。そのために相互の良好な人間関係を基盤として、組織としての方向性を各人がしっかり把握した上で、学校全体で研鑽に励む雰囲気をつくる。

(2) これから求められる学力（資質・能力）を理解し、確かな学力の育成に努める

- ・学習指導要領で求められている資質・能力を確実に育成するために、教材研究、指導計画、指導方法、ICTの活用及び学習評価の在り方についての共通理解、および自己研鑽を怠らない。
- ・生徒に学ぶ楽しさ、できるようになる喜び、挑戦することのおもしろさを伝えることのできる授業づくりをめざす。結果が思わしくないときは指導プロセスに必ず改善の余地があると考え、分析・修正をかける。

(3) 生徒の心に働きかける教育活動を推進し、豊かな心を育成する

- ・全教育活動の中で道徳教育の推進に努め、道徳的な実践力を養う。
- ・教科指導及び生徒指導の中で体験活動を充実させ、探究的な学習に取り組むことで、豊かな人間性を育む。
- ・他を尊重し、互いのつながりを大切にす温かい心の生徒の育成を目指す。

(4) 全ての生徒が安全に安心して過ごせる環境をつくる

- ・学校に登校できない生徒や教室に入れない生徒にとっての「学校の中の居場所」としての「ステップルーム」を活用し、生徒自身の自己決定力を高め、現状からのステップアップを目指すための支援を充実させる。
- ・生徒理解に努め、教師と生徒の信頼関係、生徒相互の温かい人間関係の構築を図る。そのためには教職員全員の共通理解に基づいた指導を徹底する。対応については綿密な「報連相」により組織的に実施する。

(5) 学校・家庭・地域の連携を深める

- ・誠意や熱意をもち、最後まで辛抱強く生徒に接し、家庭・保護者に対して丁寧な説明を行い、家庭や地域から信頼される教師を目指す。